



GCCS 2015 (Global Conference on CyberSpace 2015) 4/15-16

JPCERT/CC

小宮山功一郎

global-cc@jpcert.or.jp

通称：ロンドンプロセスについて

政府が主導する年次会合。サイバー空間に関して多様な関係者が集うハイレベル会合として認知される

- 参加者
 - 政府、ビジネス、技術者コミュニティ、市民社会
- これまでの開催実績
 - ロンドン(2011)、ブダペスト(2012)、ソウル(2013)、
ハーグ(2014)
- 特徴
 - ロンドンプロセスはIGF, Net Mundial Initiative, Global Commission on Internet Governance と比較してサイバーセキュリティを手厚くあつかう
 - 参加者の多様性が他のフォーラムと比較したメリット

GCCS 2015概要

- **日時**2015/04/15-16
- **場所**: ワールドフォーラム、ハーグ
- **テーマ**: Freedom, Security and Growth
- **参加者**: レジストは1500名
 - 外務副大臣、外務、防衛、総務、経産、警察庁、NISCなど
- **複数のトラック**
 - プレナリー、フォーカスセッション、バイラテ

ホットトピック

- **Mass surveillance**
 - 旬を過ぎた
- **Militarizing of the internet**
 - サイバー戦争のルール作り
- **Capacity Building**
 - 先進国 対途上国という構図ではなく。。。

GCCSの成果

- 集まったこと
- GFCEというイニシアチブの立ち上げ
 - 主要な活動エリアは4つサイバーセキュリティ、サイバー犯罪、データ保護、E-Governance
 - 初期メンバーは42の各国政府、民間企業 (MS/Vodafone/Huawei)
 - オランダ政府が事務局をつとめる
- 次回は2017年メキシコ



どうなる？

- GFCEはIGF, Net Mundial Initiative, Global Commission on Internet Governance と比較してよりセキュリティを手厚くあつかう
- 参加者の多様性が他のフォーラムと比較したメリット

結びにかえて

- サイバーセキュリティは今後どうなる？
 - ガバナンスからコーディネーションへ。人類はナイル川の流れを制御できるであろうか？
(Fadi, ICANN)
 - サイバー衛生の向上が必要なのだ (伊藤友里恵, JPCERT)
 - サイバー空間が危険な場所になったわけではなく、信頼の欠如が問題 (ブルース・シュナイアー)